



## 現状・課題

水俣市は、熊本県の最南部に位置し、人口約28,000人、面積162km<sup>2</sup>の都市である。  
本市では、路線の維持及び利便の向上を図るため、既存のバス路線を見直し、平成15年から、順次コミュニティバスを導入しているが、各地域からは、運行内容の見直しについて要望が寄せられている。  
また、平成20年に、内閣府から環境モデル都市の認定を受け、マイカーの削減による公共交通・自転車のまちづくりに取り組むこととしている。  
そこで、環境に配慮し、地域の需要に応じた持続可能な公共交通体系を再構築するため、本調査を実施する。

### ○地域公共交通の現況

- ・JR（九州新幹線）
- ・肥薩おれんじ鉄道
- ・産交バス（八代市、芦北町、津奈木町～水俣市）
- ・南国交通（伊佐市、出水市、阿久根市～水俣市）
- ・コミュニティバス（5路線7系統）
- ・スクールバス
- ・福祉バス

### ○調査の主な内容

- ・現況交通利用実態調査
- ・各地域における交通意識調査（アンケート調査）
- ・新水俣駅から各地域への移動実態調査
- ・市内事業所への通勤交通実態調査
- ・住民説明会によるニーズ把握

### ○地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

- ・コミュニティバスの再編
- ・乗合タクシーの導入検討
- ・公共交通の利用促進対策
- ・バスマップの作成
- ・乗継施設整備の検討